

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AU304／文学講義 404 (Lectures on Literature 404)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	文芸評論2		
担当者名 (Instructor)	森元 庸介(MORIMOTO YOSUKE)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	PCW2300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

文学(または「芸術」一般)の社会的な価値が歴史をつうじてどれほど変化するものであるかについて、キリスト教ヨーロッパの事例に即して理解する。

We aim to understand how the social value of literature (or art in general) varies throughout history, taking the example of Christian Europe.

#### 授業の内容(Course Contents)

主としてヨーロッパ近世(16-18世紀)を念頭に、とくにキリスト教神学によって担われた演劇(それは長く、文学を含む芸術一般を代表するジャンルであった)を非難する言説と、それを解除しようとする動向——あまり知られていないが、そこでもやはりキリスト教神学が重要な役割を果たした——との関係を、さまざまな文献資料に即して検討する。

Focusing mainly on the early modern period (16th-18th centuries) in Europe, we will examine the relationship between several discourses condemning theater (here as a genre representing arts in general), which were carried by Christian theology in particular, and some discursive movements to invalidate them, in which Christian theology also played an important, though less well known, role.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション 1: 文学／芸術の歴史的な相対性
2. イントロダクション 2: この授業における「演劇」の意味について(文学／芸術のプロトタイプ)
3. 演劇批判のプロトタイプ 1: プラトン、アリストテレス
4. 演劇批判のプロトタイプ 2: テルトウリアヌス、アウグスティヌス
5. キリスト教会と演劇: 中世のいくつかの事例
6. 言説ジャンルの問題: 教会法、決疑論
7. 近世決疑論における厳格派の主張(古典のリヴァイヴァル)
8. 別の流れ: 事例研究 1(異端の役者が異端の人物を演じる時)
9. 別の流れ: 事例研究 2(舞台上の異教徒)
10. 典礼論の文脈: 事例研究 3(内心を偽る受洗者)
11. 演劇の中立性: 事例研究 4(停思快という概念)
12. 演劇の中立性: 事例研究 5(演じられた犯罪を喜んではいけないのか)
13. キリスト教を少し離れて: デュボスとルソー
14. まとめ

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

それぞれの関心にしたがって、授業の内容が応用できる事例がないかどうかを考えてくださればよい。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(100%)

#### テキスト(Textbooks)

なし

#### 参考文献(Readings)

#### その他(HP等)(Others(e.g. HP))

上に記したとおり、メインの材料は演劇をめぐる議論に汲むが、演劇研究というわけではない。授業内でも述べるが、これは 18

世紀ヨーロッパで「芸術」という一般概念が成立する以前は、文学や芸術を代表するジャンルが演劇であったことと関係している。というわけで、お芝居には興味がない、見たことがないという方——自分自身の経験に照らしても、そうした方は、たぶん少ないだろうと想像する——も、恐れず受講して下さるとよい。

注意事項 (Notice)